

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校読書活動推進				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 21 年度		
		[小 柱]					[終了予定] 平成 - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要項等なし				
	事業対象	区立全小学校							
	事業目的	学校図書館の読書環境を整備し、使用に関する指導を行ったり資料展示を工夫したり、読書会を開催することで、児童の読書意欲を高め、読書活動を推進する。							
	事業内容	授業や学習で活用できるように、書棚整理や分類表示を統一するなど、学校図書館の環境整備を行う。また本の紹介や資料展示等を行い、児童の読書に対する興味、関心を深めさせることで読書意欲を高める。							
委託の有無	全部委託		委託内容	学校図書館運営業務委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	実施校数		(校)	19	19	19	19	
		貸出冊数		(冊)	125,000	125,404	135,918	142,415	
	決算額 (単位：千円)					17,796	17,800	17,800	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				255	241	178	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				17,770	17,800	17,800	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				18,025	18,041	17,978	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				18,025	18,041	17,978			
前回評価から改善した事項	各校において図書紹介を工夫して行ったことで、貸出件数の増加につながった。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	読書支援や学習支援を行い、児童に読書に対する興味・関心を深める本事業は、読書活動の活性化のためにも必要性は高い。						
	効率性	3	図書館業務の専門業者に委託し、司書資格を持つ人材を確保している。委託により効率的に事業を実施できている。						
	手段の適切性	3	委託業者において研修会を複数回実施しており、配置されている司書のレベルが維持できている。配置された司書により各学校において、児童への読書支援や学習支援が適切に行われている。						
	目的達成度	4	読書支援や学習支援により、児童の読書意欲を高められており、貸出冊数が増加し目的が達成できた。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
図書に精通した司書を派遣することで、児童の読書に対する興味関心をより深めていくことができているため、本事業を継続していく必要がある。						維持			